



株式会社 桑山 第49期 第2四半期 事業報告書

H29.4.1~H29.9.30

証券コード:7889

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第49期第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日より平成29年9月30日まで）における事業概要を取りまとめましたのでご報告申し上げます。

事業の経過及びその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、全体としては緩やかな回復基調にありますが、朝鮮半島の政治的緊張の高まりなどの不安要因もありました。また海外では欧米での政策動向や地政学的リスク、新興国経済の減速など、依然留意が必要な状況で推移しました。

当業界に関わりの強い個人消費は、持ち直しの動きがあるものの、先行き不安感から消費者マインドの改善には至らず、市場環境はやや厳しい状況が続いております。

当社グループにおきましては、「クオリティ・ファースト」を掲げ、製品品質のみならず企画提案力や営業対応力をも企業活動の品質と捉え、その改善・強化を進め、ジュエリー製造国内トップシェアのポジションを堅固にしました。

当四半期においては、海外市場では、中国での経済成長減速に影響された同地域での宝飾市場の伸び悩みから、中国市場でのダイヤモンド素材販売が大幅に減少しました。

国内市場でもこの影響に加え、小売市場の停滞と販売単価の低下から受注が減少し、売上・収益が低下しました。

一方、製造面では海外製造拠点での生産能力拡大が計画通り実現し、今期のクリスマス商盛期に向けての受注体制が整いました。しかし、能力拡大にともなう海外製造拠点での経費増から、現段階での営業利益は大幅

財務 ハイライト

売上高



経常利益



な減少となりました。

ただし、通期との比較で、上半期は売上発生比率が低く、販売費及び一般管理費は各四半期でほぼ一定比率での発生となるため、今後、第3四半期でのクリスマス需要、第4四半期での中国の旧正月需要と本格的な商盛期を迎え、売上が上昇すると見込まれますので、平成29年5月11日発表の通期連結業績予想に修正はありません。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は147億38百万円（前年同四半期比16.6%減）、売上総利益は43億52百万円（前年同四半期比15.8%減）となり、販売費及び一般管理費は上記の理由から40億91百万円（前年同四半期比3.9%減）と減少は限定的になり、営業利益は2億61百万円（前年同四半期比71.4%減）、経常利益は、前年同四半期では為替差損が生じましたが当四半期では為替差益に転じたため3億61百万円（前年同四半期比45.1%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億72百万円（前年同四半期比59.7%減）となりました。

今後とも当社グループの最大の強みである国内外に展開する製造・販売のネットワークの優位性を活かし、事業の着実な発展に繋げるべく努力をする所存です。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月



代表取締役社長 桑山貴洋

親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



総資産・純資産



連結計算書類

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結会計期間末 平成29年9月30日現在	前第2四半期連結会計期間末 平成28年9月30日現在
資 産 の 部		
流動資産	20,866	20,820
固定資産	10,920	11,726
有形固定資産	7,370	7,331
無形固定資産	693	726
投資その他の資産	2,856	3,668
資産合計	31,787	32,547
負 債 の 部		
流動負債	9,561	12,442
固定負債	6,411	4,532
負債合計	15,972	16,974
純資産の部		
株主資本	15,079	14,930
資本金	3,013	3,013
資本剰余金	2,944	2,944
利益剰余金	9,278	9,128
自己株式	△156	△156
その他の包括利益累計額	735	642
その他有価証券評価差額金	479	555
為替換算調整勘定	255	87
純資産合計	15,815	15,572
負債・純資産合計	31,787	32,547

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
売上高	14,738	17,670
売上原価	10,385	12,500
売上総利益	4,352	5,169
販売費及び一般管理費	4,091	4,258
営業利益	261	911
営業外収益	172	81
営業外費用	71	332
経常利益	361	659
特別利益	0	0
特別損失	57	0
税金等調整前四半期純利益	304	658
法人税、住民税及び事業税	144	223
法人税等調整額	△12	6
四半期純利益	172	427
親会社株主に帰属する四半期純利益	172	427

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,092	△488
投資活動によるキャッシュ・フロー	332	△368
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,511	1,350
現金及び現金同等物に係る換算差額	18	△112
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△230	380
現金及び現金同等物の期首残高	2,942	2,559
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,711	2,940

「JJAジュエリーデザインアワード2017」最高賞を受賞

日本のジュエリー業界において最も権威あるジュエリーコンテストとして知られる「JJAジュエリーデザインアワード」で、株式会社桑山の作品が今年度の最高賞「日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞」と「技術賞」を受賞しました。授賞式は2017年8月28日「ジャパンジュエリーフェア2017」の会場で行われました。

受賞作品の「Ecume」（仏語で「泡」の意）は、泡が持つレンズ効果と沸き立つ躍動感の美しさから着想を得てデザインされ、プラチナ、ダイヤモンド、真珠、水晶など多様な素材の特性を効果的に活かして製作されたネックレスです。

今回の受賞は、当社の斬新な発想力とデザイン力に加え、それを具現化する、先進技術と高度なクラフトマンシップとの融合による技術力が総合的に評価されました。



国際的な展示会でオリジナルジュエリーを発信



「ジャパンジュエリーフェア2017」
2017年8月28日～8月30日
東京ビッグサイト（東京）



「香港ジュエリー & ジェムフェア
(Hong Kong Jewellery & Gem Fair)」
2017年9月15日～9月19日
香港コンベンション & エキシビジョン
センター（香港）

新作コレクション 「3D Technology」

トレンドのデザインに3D技術ならではの斬新さをプラスした、遊び心あふれるジュエリーを展開しています。



「Parameter - パラメーター」
規則的に並べた線の交差部分をCAD上で精密に計算しデザインすることで、ジュエリーの中に美しい変化の流れを表現したシリーズ

会社概要・株式情報

会社概要 (平成29年9月30日現在)

社名 株式会社桑山
資本金 30億1,352万円
設立年月日 昭和45年4月14日
従業員数 連結1,407名 単体365名
本社所在地 〒110-0015
 東京都台東区東上野2-23-21

桑山グループ拠点一覧



子会社

株式会社エヌジェー*
 株式会社ブリリアンスインターナショナルジャパン*
 株式会社クレール*
 株式会社HAKKOインターナショナル*
 株式会社 K.C.D
 有限会社アトリエジーエスピー
 株式会社メルキュール
 CHRISTY GEM CO.,LTD.*
 桑山香港有限公司
 無錫金藤首飾有限公司*
 広州桑山珠宝有限公司
 KUWAYAMA EUROPE N.V.*
 (注) ※連結子会社

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

発行可能株式総数 22,929,100株
発行済株式の総数 10,056,708株
 (自己株式 274,838株を除く)
株主数 1,388名

大株主

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
有限会社山洋	3,353	32.5
桑山征洋	1,298	12.6
株式会社ツツミ	617	6.0
桑山貴洋	468	4.5
桑山みき子	429	4.2
相原信雄	376	3.6
株式会社三菱東京UFJ銀行	352	3.4
株式会社北陸銀行	275	2.7
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	240	2.3
株式会社桑山従業員持株会	220	2.1

(注) 上記のほか当社所有の自己株式274千株 (2.7%) があります。

役員一覧 (平成29年9月30日現在)

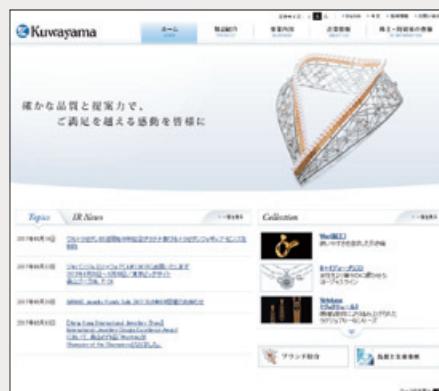
代表取締役会長	桑山征洋	執行役員	立道穂高
取締役副会長	相原信雄	執行役員	青柳雄三
代表取締役社長	桑山貴洋	執行役員	佐藤 満
取締役	佐伯 仁	執行役員	松浦 茂
取締役	原崎則子	執行役員	堀 功
取締役*1	上平光一	執行役員	江藤寿晃
常勤監査役	甘粕正明		
監査役*2	窪田久信		
監査役*2	松田良行		

(注) ※1 社外取締役
 ※2 社外監査役

株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 毎年6月中
- 期末配当金** 毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録されている株主にお支払いいたします。
- 中間配当金** 取締役会の決議により9月30日現在の株主名簿に記載または記録されている株主にお支払いいたします。
- 公告方法** 電子公告により、当社ホームページ (<http://www.kuwayama.co.jp/>) に掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることが出来なときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所** 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 同連絡先** 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

●ホームページのご案内●



<http://www.kuwayama.co.jp/>

